



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0143号 2022年1月26日  
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F  
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-meil staff@cutokyo.jp  
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」  
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

**非正規・ジェンダー差別是正**  
**雇用を守り、最賃1500円の実現を!**  
**新しい支部をつくり、前進の年に**



**22年新春を向えて!**

**CU東京 佐藤義見執行委員長**

組合員、家族のみなさん、  
 日頃よりCU東京の運動にご  
 理解・ご協力に感謝申し上げ  
 ます。



新型コロナ感染は収束せず  
 3年目に入りました。昨年は、  
 年末最後まで奮闘により月間7%目標を見事  
 達成し、113名の新しい仲間を迎えることがで  
 きました。

働く者の賃金や雇用で深刻な状況が続き、労  
 働組合、とくにCU東京への期待が高まってい  
 ます。今こそ大幅賃上げ、最低賃金1,500円な  
 どの底上げ、雇用の安定、長時間労働を規制し、  
 人間らしく働くルールを確立し、労働者、国民  
 のいのち、くらし、営業をまもるため、本年は

こうした国民要求を前面にかかげ、働く者の人  
 権と尊厳を守り、労働者のよりどころとして前  
 進してまいりましょう!

**東京地評事務局長 井澤智さん**

CU東京の仲間のみなさん、  
 おめでとうございます。コロナ  
 禍も3年目に入り、貧困と格差  
 が広がる中、地域から労働相談  
 の駆け込み寺として活動し、仲  
 間を増やし続けるCU東京の奮  
 闘に心から敬意を表します。



東京地評も労働者、組合員の要求を大切に  
 して諸運動をすすめ、組織の拡大・強化も重点課  
 題として取り組んでいます。CU東京の目を見  
 張る組織拡大の成果は全都の仲間の励みとなっ  
 ています。2022年もともに奮闘していきましょ  
 う。

## 〈紙上新年会〉

### 全国労働組合総連合事務局長

黒澤幸一さん

新年、今年もよろしくお  
願います。22国民春闘は、  
すべての労働者の大幅賃上  
げ・底上げが最大の焦点で  
す。日本だけの異常な低賃  
金は、四半世紀にも及びま  
す。この賃金引き下げが日本社会を没落させて  
いる原因です。コロナ禍でエッセンシャル  
ワークや公共体制の脆弱性が浮き彫りになっ  
ています。ケア労働者の大幅賃上げをけん引  
役に、大幅賃上げ・底上げ、最低賃金全国一  
律1500円の実現で誰もが希望をもてる公  
正な社会の実現へ奮闘しましょう。



### 新日本婦人の会東京都本部会長

佐久間千絵さん

新年おめでとうございます。  
昨年初めてCU東京の皆さんと懇談させて頂きました。非正規雇用の厳しい立場の女性が増える中、本当に勉強になりました。お話をして初めて自分が労働組合運動経験がない事に気づきました。3人就職した子どもたちが「組合って労働者を守ってくれるところなの？」と聞いてきたりして「なんで？」と思ってました。CUのパンフを3人に渡すつもりです。今年もお世話になります。



### 全日本年金者組合東京都本部書記長

野口洋子さん

新年あけましておめでとうございます。  
日頃のご活動に心よりの敬意を表します。  
1986年労働者派遣法が施行されてから、正社員が当たり前の社会から非正規が多く占める社会に代わってしまいました。正規社員への要求は大事です。年金も現役時代の賃金が反映。同年施行された男女雇用機会均等法



都本部合唱団 野口洋子さん(前列左から2番目)です。

は名ばかり。日本のジェンダーギャップは世界156か国中120位。100年も前にジェンダー平等に目覚め闘った「伊藤千代子」の志を伝えていきたい。

### 東京母親大会連絡会委員長

木原秀子さん

昨年12月5日、コロナ感染者が落ち着いた時期に東京母親大会をリアルのみで930人が参加して開催することができました。1年ぶりの大会に会場は熱気があり、講師や助言者の皆さんも「直接お話しできるのはいいですね」と感想を述べてくれました。



今年の大会は12月18日に浅草公会堂で開催します。政治の力で早く収束させ集まるのが当たり前の日常を取り戻す、そんな年にしたいですね。

### 日本共産党東京都議会議員

あぜ上三和子さん



新年おめでとうございます。シフトを減らされ生活が厳しい、住まいを失った等深刻な相談が日本共産党都議団にも寄せられています。労働者が追い詰められている中、都労委に申し立てをした事案は近年100件前後で

すが、その約8割が合同労組の申し立てです。

CU東京は多くの労働者の『希望』です。今年も仲間を増やし、働く者の権利と暮らしを守るため、ご活躍を心より期待申し上げます。私たちも、誰もが安心して働き暮らせる東京へ、全力で頑張ります。

### CU東京副委員長

鈴木明彦さん

2022年を迎えて

昨年、CU東京本部における労働相談や争議支援（要請があった支部への支援）を強化するため争議対策委員会を立ち上げました。私の所属するユニオンちよだ、そして文京支部、地域労組どうの協力を得てようやく態勢が整ってきました。昨年度は、3件解決に至り現在も9件の争議支援を行っています。今年も多く労働相談と組合員拡大が予測されますので、それに伴い争議対策委員会としても勉強会や弁護士事務所との連携など、更なる強化が必要と考えています。難題な案件も多く大変ですが、支援の輪が広がり交流できたことを励みとして今年も頑張りたいと思います。



### CU東京副委員長

伊東弘子さん

新年の抱負

新たな気持ちで身の回りの事象をジェンダー視点で見直し、それを記録・考察し運動につなげていきたいと思います。

また労働相談員として組織拡大に貢献できるよう自身を鍛えていきたいと思います。

心身の健康・労働組合組織の健康・人間関係



左から3番目伊東さん 左端田辺さん

の健康など『健康』をモットーとして労働問題にジェンダー視点で取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

### CU東京副委員長

田辺陽子さん

今年の抱負

各支部の活動報告を聞くたびに感じることは、相談に丁寧に向き合い、相談者を粘り強く励まして、仲間として一緒に要求実現のために活動しているということです。CU東京の社会的役割を支えている活動だと感じます。私もその一員として、経験を積み、相談者に信頼されるように努力しなければと思う年頭です。

## 〈支部の活動〉

### 恒例のサンタ宣伝 渋谷支部

どんな小さな事でも相談を！と組合の存在をアピール。

最賃全国一律1500円以上は共感の笑顔！



12月17日(日)若者で賑わう渋谷宮益坂交差点ビックカメラ前で9名が参加し、サンタ帽子とお髭、オレンジジャンパーで元気よく地域宣伝を行いました。変えるリーフやCU加入用紙入りティッシュ500個は、45分程でなくなりました。

「時給1500円必要」との横断幕を見て話をしていくグループや、都道府県別の最低賃金額を示したパネルを見て、自身の出身地と東京都との差に驚く若者など、街行く人達に注目され対話が弾み、署名3筆が集まりました。

## 東京土建がつくった建築の学校 東京建築カレッジが新入生を募集中



「製図も、木材加工も、初歩から教えます。初學者でも安心」

コミュニティユニオン東京（CU東京）が加盟する東京地評の仲間、東京土建一般労働組



合（中村隆幸中央執行委員長）は、地域に根ざして建設職人を組織している労働組合です。その東京土建が技術・技能の継承と後継者の確保・育成のためにつくった学校があります。職業能力開発短期大学校 東京建築カレッジ（学校長＝小林謙二関東学院大学名誉教授）です。働きながら学ぶスタイルで2年間、通学、建築の基礎を伝統的な大工技術を軸に習得するカリキュラムが特徴です。ただいま、第27期生（2022年4月入学生）を募集中。希望する方にはハローワーク池袋登録の「東京建築カレッジ無料職業紹介所」を通して、この学校での学習を保障する就職先も紹介してもらえます。

建築の世界は人手不足が深刻です。また、今、環境問題から木造建築が注目され、専門の知識と技術を兼ね備えた人材は仕事が途切れることはありません。建築従事者をめざす皆さんを東京建築カレッジは応援します。これまで建築の専門教育を受けていなくても、東京建築カレッジで建築士指定科目をすべて履修すれば卒業後すぐに一級建築士の受験ができるなどのメリットもあります。

くわしくは学校ホームページをご覧ください。電話での問い合わせや入学相談も歓迎します。

東京土建技術研修センター内  
東京建築カレッジ  
電話03・5950・1771

働きながら学ぶスタイルで2年間、通学、建築の基礎を伝統的な大工技術を軸に習得するカリキュラムが特徴です。ただいま、第27期生（2022年4月入学生）を募集中。



学校ホームページはこちらから（動画も観れます）

CU東京は、東京土建から物心両面の支援を頂いています

### 一人で悩まないで相談を

- ・ 届きましたか
- ・ つけてますか



### 缶バッチでCU東京をアピール

■2022年を迎えました。組合員、「こみゅーと」を読まれているみなさん、今年もよろしくお願ひします。支部・組合員のみなさんの奮闘で新しい年を組合員1604人の最高の峰で迎えることができました。お礼申し上げます。コロナ禍でも、相談者に応え「駆け込み寺」の役割を發揮できました。「こみゅーと」はひきつづき組合員の闘い、活動を据えて発行します。読まれる機関紙めざします。■「新しい資本主義」と政府、マスコミ・企業と声高に発信していますが、まったく響いてきません。年末年始に2冊読みました。本田由紀『日本ってどんな国?』、望月衣塑子『報道現場』。日本社会が相当に”ヤバイ”“ことになっているとみなさんも思われているのではないのでしょうか。労働組合の役割が大事になっていること強く感じました。■働く人の権利や賃金、雇用を守る活動を実際の力にするのが労働組合です。日本国憲法はそれを保証しています。CU東京は一人でも、誰でも加入できる個人加盟の組合です。今、求められていると自負しています。今年も、力合わせて運動をすすめます。ご一緒に、今年1700人組合にしましょう。